

右各公職選挙法違反被告事件について、昭和三四年一二月二一日東京高等裁判所  
が云渡した判決に対し、被告人両名の原審弁護士松木明から電報による上告の申立  
があつたが、電報は刑訴四一四条、三七四条にいう申立書に該当しないから、本件  
上告の申立は不適法である（昭和二五年（あ）第二八三〇号、同年一二月五日第三  
小法廷決定、集四卷一二号二四八九頁参照）。

よつて、当裁判所は刑訴四一四条、三八五条一項に則り、裁判官全員一致の意見  
でつぎのとおり決定する。

主 文

本件上告を棄却する。

昭和三五年二月二七日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	高	橋	潔
裁判官	島		保
裁判官	河	村	又 介
裁判官	垂	水	克 己
裁判官	石	坂	修 一